

分散登校日における新型コロナウイルス感染症への対応

学校での生活

- 1 登校前
 - ・児童生徒の登校前に教室等の換気
 - ・多くの児童生徒が触れる箇所などを適切に消毒
 - ・児童生徒及び教職員においては、教室に入る前の手指消毒
 - ・家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認の徹底
 - ・こまめな手洗いやうがいを促す
 - ・マスクの着用
- 2 朝の会
 - ・十分な健康観察（検温の記録や健康状態の確認。検温を行っていない児童生徒の検温と記録）
- 3 学習活動中
 - ・こまめな換気（密閉しない）
 - ・座席の間隔を可能な範囲であける（密集・密接を避けた学習形態）
 - ・対面とならないような形とする。
 - ・感染リスクが高いと考えられる学習活動を行わない
(例)・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体
の接触を伴う活動
 - ・家庭科における調理などの実習
 - ・体育科・保健体育科における児童生徒が密集する運動
や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場
面が多い運動
- 4 休み時間
 - ・手洗い、うがいの徹底
 - ・十分な換気
 - ・密集・密接を避けて過ごすよう指導する。
- 5 帰りの会
 - ・帰宅後の過ごし方についての指導（十分な睡眠や休養、食
事、適度な運動等の規則正しい生活、不要不急の外出の自
粛等）
 - ・体調不良（風邪の症状、咳、発熱等）の際は、登校しない
ことの確認
- 6 下校後
 - ・校舎内の消毒を実施（教室を中心に。多くの児童生徒が手
を触れるドアノブ、スイッチ、階段の手すり等も消毒す
る。）